

「会報2018年の活動記録」

平成30年11月27日 堂々川ホテル同好会情報紙30年度9号(創刊 167号)

1. 11月25日 ホテル同好会は定例会を開催、今回はゴミとの戦いだった。橋の直下に家庭ごみ45㍻袋2つ、上を見れば大きなスズメバチの巣、公園では猫も！自然も人間も悪いな--!
2. 11月1日神辺ライオンズクラブの皆さんと6番砂留付近を整備、横では彼岸花科ダイヤモンドドリリー3色が咲いている。太陽の陽が当たりピカピカ綺麗、しかし霜が降って萎れだした。
3. 多くの皆様のご支援でふるさと納税型GCFのご寄付は85万円になりました。後3日・・・
4. 今年はカヤネズミの巣の発見はありません。7月豪雨の影響でしょうか。
5. 不法投棄の話題、今月は定例会以外ごみ拾いの人は延15人。他所でもごみを捨てる人は多い。
6. 新しい企画です。地域を守っているのに人気のない砂留PRのために砂留女子を作りたい。
7. 写真で見る活動風景



定例会後にモミジの下で撮影



神辺ライオンズクラブの皆様



定例会でサクラを5本植栽



橋の上からポイ、ひどいもんだ



橋の上を見ればスズメバチの巣



堂々公園 猫を捨てる 餌付



ダイヤモンドドリリー3色46本咲く



砂留女子1番目の方



砂留女子2番目の方

8. 次回の定例会は

○日時：H30年12月16日(日) 8:30～ ごみ拾い、6番砂留道脇草刈り
土手のコナラを切る。これはシイタケの原木となるので、必要な人は参加
されてお手伝いすれば貰える。シイタケ菌購入や植菌は自分で！(森林組合共催)

* 会員以外の方でも参加、砂留保護の草刈り・ゴミ拾い他軽作業をします。

ご参加の方は保険に入りますのでお名前を12月13日までに事務局へ知らせてください！

堂々川ホテル同好会 発行責任者 事務局 土肥 携帯 090-2865-3486

堂々川そんな男の独り言（ある人のお便りからアレンジ）

私たちは堂々川中流域1.5kmをテリトリーとして老人や若者と小学生と保育園児が観光地を作り出した。不思議と小・中学生や園児の保護者が会員ではないのはなぜだろうか。

私たちは福山市でトップレベルのホテルの里を作り出した。

私たちは広島県トップレベルの彼岸花の里を作り、そして彼岸花の花色21色、日本一の花色が咲く堂々川を作り出した。猪被害に遭いながら！

私たちは国の登録有形文化財の砂留を整備し、民間団体として日本最初の砂留シンポジウムを神辺の地で開催した。

私たちの活動テーマは「ホテルと花と砂留と」で13年間が経過した。

でも、

約4kmの堂々川は、常日頃は水が少ない溪流、しかし怒り出すと過去に遡れば63人もの犠牲者を出した暴れ川。今は、皆さんのおかげで全国的にも有名な川になっている。

2018年11月会員が作り出した美しく綺麗な堂々川へポイ捨てが横行している。堂々川だけではなく、近隣河川の土手でも少し草が伸びると家庭ごみを捨てる。

いつまでも私たちはごみを拾うことはできない。

いつまでも砂留の草や木を除去することはできない。年を取りすぎた。

2018年7月の豪雨でも砂留は下流の地を土砂災害から守った。

もし、6番砂留が昔のように木の根が石と石の間に入っていたら、今回の水は砂留の石と木を押し流していたはずだ。大きな土石流になっていたと思う。確かに下流は床上浸水と騒いだがこれに土石流が同時に発生していたら・・・想像ができますか？



2006年の堂々川6番砂留 このままだと石積が崩れていたはずだ。

ボランティアと小学生が観光地に変えた彼岸花堂々公園の流れの斜面に霜が降る前の11月23日まで、お日様が雲間から出るとピカピカと輝いて、日本一の花数21色の内、3色が安心をアピールしていた。



皆で守ろうやー、堂々川の砂留を！